

# Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 26 巻第 2 号 (通巻 76 号)

2022 年 7 月 19 日

## 2022 年度春期研究発表会報告

去る 6 月 4 日 (土)、2022 年度春期研究発表会がオンラインにて開催されました。学位取得者講演 2 件の他、一般発表 2 件が行われました。参加者は全体で 61 名でした (Zoom のアクセス数より算出)。コロナ禍が継続する中、昨年度に引き続いてのオンライン開催となりましたが、有意義な研究発表に対し、活発な質疑応答がなされました。研究発表会および会員総会終了後、Zoom による懇親会も行われました。開催に際しまして、ご尽力いただいた関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

## 第 26 回会員総会報告

6 月 4 日 (土)、春期研究発表会終了後、第 26 回会員総会が開催されました。参加者は全体で 35 名でした (Zoom のアクセス数より算出)。会員総会での報告事項および審議事項は以下のとおりです。

### 記

1. 2021 年度事業報告がなされた。
2. 2021 年度会計報告及び監査報告がなされ、承認された。
3. 『音韻研究』第 25 号編集報告について報告された。
4. 2022 年度事業計画が承認された。
5. その他
  - 5.1 『音韻研究』第 25 号送付の遅延について報告された。
  - 5.2 音韻論フォーラム 2022 発表と『音韻研究』第 26 号の一般投稿の募集について報告された。
  - 5.3 2023 年度春期研究発表会、音韻論フォーラム 2023 の予定について報告された。

## 韓国音韻論形態論学会第 8 回国際会議への講師派遣報告

6 月 11 日 (土)、韓国音韻論形態論学会第 8 回国際会議 (The 8<sup>th</sup> International Conference on Phonology and Morphology) がオンラインで行われ、本学会からは宇都木昭氏 (名古屋大学)、本間猛氏 (東京都立大学) を講師として派遣しました。演題は以下の通りでした。

Akira Utsugi, Perspectives of tonal typology on tonal changes in Kyungsang Korean  
Takeru Honma, Trochaic clusters in English

## 音韻論フォーラム 2022 開催

音韻論フォーラム 2022 が成蹊大学とオンライン (Zoom) で下記の通り開催されます。海外研究者による基調講演 4 件 (Eon-Suk Ko 氏、Soo-Hyun Kwon 氏、Wayne Lawrence 氏、陳彥氏)、学位取得者講演 2 件 (守本真帆氏、増田正彦氏)、一般研究発表 5 件と、充実した内容となっております。

日時: 2021 年 8 月 24 日 (水) ~ 25 日 (木)  
会場: 成蹊大学とオンライン (Zoom)  
参加費: 無料

詳細につきましては、別紙のプログラムまたは学会ウェブページ

(<http://www.phsj.jp/meetings.html>) をご覧ください。

今回の音韻論フォーラムはハイブリッドで行う関係で、事前登録制とさせていただきます。参加をご予定の方は以下のリンクから事前登録のほどよろしくお願いたします。

<https://forms.gle/PhqZqGWK6T7H1wvr9>

- ※ コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場に参加される方はマスクの着用をお願いします。また、37.5 度以上の発熱がある方や咳や倦怠感などの症状が見られる方は、入場をご遠慮下さるようお願いいたします。
- ※ 今回のフォーラムは会場とオンラインの同時開催になることから、会場での受付業務を最小限にさせていただきます。例年学会会場で年会費の納入を受け付けてきましたが、**今年度に関しては会場校である成蹊大学での年会費の納入はできません。**ご不便おかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- ※ コロナウイルス感染状況次第では、オンラインのみの開催となる可能性もあります。

## 『音韻研究』第 26 号論文募集

『音韻研究』では、春期研究発表会・音韻論フォーラムでの発表原稿の他に、一般の投稿論文も募集しております。いずれのカテゴリーも投稿者の名前を伏せて審査され、掲載の採否が決定されます。会員の皆様の積極的な投稿をお願いいたします。投稿方法は以下のとおりです。

### 記

- ・投稿方法: Microsoft Word で作成したファイルとそれを PDF ファイルにしたもの各 1 通、さらに

それぞれのファイルから氏名・所属・謝辞などを削除したものを各1通の計4通を、下記の編集担当理事まで電子メールで送付する(ただし、謝辞の有無については自由とする)。ファイル名は論文タイトルとする。電子媒体で投稿不可能な場合は、事前に編集担当理事もしくは学会事務局まで連絡する。

- ・同一著者による論文の掲載は各号で2編以内とし、このうち筆頭著者としては1編とする。
- ・分量：8頁を原則とする。
- ・書式の詳細については学会ホームページ、あるいは、『音韻研究』最新号の巻末に記載された執筆要領をご覧ください。
- ・書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効となりますので、くれぐれもご注意ください。
- ・締切：2022年10月20日(木)必着

投稿・連絡先：熊谷学而(編集担当理事)

E-mail: oninkenkyuu26[at]gmail.com  
([at]を@に置き換えてください)

## 旅費の補助について

本学会では、若手研究者への支援を目的として、研究発表会やフォーラムの遠隔地からの発表者かつ、非有職者(学生や非常勤講師等)の会員を対象に旅費の補助を行います(一人上限:国内2万円、海外5万円)。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表にご応募下さい。

## 『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20周年記念論文集』(2016)や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』(1996)についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

また、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購入を御検討のほどよろしくお願いたします。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘1-5-2 水上ビル4F

TEL: 03-5842-8900

FAX: 03-5842-5560

E-mail: kawata[at]kaitakusha.co.jp

([at]を@に置き換えてください)

## 会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

E-mail 末尾にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち1,2は、それぞれ2021,2022の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「\*2[5t]」と印字されていれば、2022年度の会費が未納であり、その総額が5,000円であることを意味します。

ご確認の上、未納の会費を以下のとおり郵便振込で納入していただきますよう、お願いいたします(『音韻研究』送付時に学会名および口座番号印字の振込用紙を同封いたしますのでご利用ください)。

郵便振込

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会

他行から：ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキユウ)店(019)当座0402077

年会費 維持会員：10,000円

通常会員：5,000円

学生会員：4,000円

「維持会員」の申請方法が明確化されました。維持会員は、本会を格別に支援して下さる会員です。**年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。**維持会員をご検討、ご希望の方は**事務局会計**までご連絡ください。維持会員の申請が執行部で承認されましたら、追って当年度の維持会費¥10,000の請求書をお送りします(メール添付にて)。正式な維持会員の承認は当年度末までに開かれる理事会でなされることになります。

また、会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計**にご連絡下さい(学生会員から通常会員へ変更となる場合なども必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意ください。

## 事務局員の交代について

事務局では、本年7月1日付で会計担当者が平田秀氏(武蔵野大学)から植田尚樹氏(北洋大学)に交代いたしました。会費納入、会員情報の変更等に関する連絡先が下記事務局名簿のとおり植田宛に変更となりますので、今度ともよろしくお願いたします。

~~~~日本音韻論学会事務局~~~~

【事務局長】

桑本 裕二（松江工業高等専門学校）  
〒690-8518 松江市西生馬町 14-4  
松江工業高等専門学校 人文科学科  
TEL：0852-36-5163（直通）  
E-mail: ykuwamoto[at]icloud.com

【会計】

植田尚樹（北洋大学）  
〒059-1266 北海道苫小牧市錦西町 3 丁目 2-1  
北洋大学  
TEL：0144-61-3272（直通）  
E-mail: n\_ucta[at]hokuyo.ac.jp

【書記】

フアン チョウユエー  
黄 竹 佑（名古屋学院大学）  
〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1-25  
名古屋学院大学 外国語学部  
TEL：052-678-4078（内線 2755）  
E-mail: huang[at]ngu.ac.jp  
※E-mail アドレスは、[at]を@に置き換えてください。

日本音韻論学会ウェブサイト：<http://www.phsj.jp>

~~~~~